



先月の山行

- ☆ 12月 9日(日) 霊仙山 雨天中止
- ☆ 25日(日) 西方、さざえ岳(敦賀)

1月の予定

- ☆ 2日(水) 鬼が岳
- ★ 10日(日) 例会
- ☆ 27日(日) 越知山

CL

2月の予定

- ☆ 10日(日) 取立山、富士写ヶ岳
- ☆ 14日(木) 例会
- ☆ 24日(日) 銀杏峰、越前甲

CL

- ☆ 3月10日(日) ブナが岳、伊吹山

冬季は積雪を考慮して決定します。

遭難対策基金1000円会計までお願いします。

<https://asihiking2.jimdo.com/山行計画-1>

を検索して下さい。

山行計画書を提出して下さい

クラブ山行の場合はリーダーが、個人山行の場合はそれぞれで山行前日迄に宮本会長まで。

[山行報告]

西方、さざえ岳(敦賀)



今年最後の会の山行です。前々日まで雨の予報だったが、15時まで曇りに変わった。6時30分に集合して常宮神社に向かう。神社境内の駐車場に車を停める。すると神社の方から駐車しないように注意される。ザック等を下ろし、車2台で浦底の登山道に向かう。途中新しいトンネルができていた。浦底の登山道入口に着く。県道の脇に止めようとしたが、以前登山道入った所に停めたので、登山道に入って行く。新しい道路を作っていた脇にちょうどいい駐車スペースがあった。そこに車を置き、常宮神社に向かう。先ほどとは違う駐車場に車を停めた。支度を整え出発です。

西方ヶ岳に向かって進む。ある程度登ったら、暑くなってきた。上着を脱いで再度出発です。ジグザクに登っていくと奥の院展望台に着く。展望を見に巨岩を登る。空はどんよりした雲が広がっている。空気が澄んでいるので、遠くの山並みもよく見える。奥の院を出て少し登ると、最初の鉄塔に出る。ここからは少し水平な登山道を進む。やがて緩やかな登り坂が続く。銀命水に着く。ここでしばし休憩です。銀命水を出ると、坂が強くなってきた。高度を上げて登っていく。オウム岩に着く。オウム岩からは若狭湾が見え、その先に青葉山も見える。オウム岩を出ると冬枯れのブナの林だ。気持ちの良いブナ林を歩く。ブナ林の間の右下に水島の端が顔を出している。2回急登を登り終わると西方ヶ岳に到着した。何と青空になってきた。西方ヶ岳の展望台に行ってみるとカモシカ岩から敦賀湾、

遠くに法恩寺山、部子山がよく見える。白山はあいにく雲がかかって見えない。西方ヶ岳で昼食です。今日はまつやのとり野菜鍋でうどん入りです。一味をたっぷり入れていただきました。冷えた体には中から温まります。美味しく頂いた上に、見も心も温まりました。西方ヶ岳を出ると、小さなアップダウンを繰り返して、下っていきます。カモシカ岩の分岐に着く。ザックを下ろしてカモシカ岩に向かう。カモシカ岩までが急登です。何とか登りきる。カモシカ岩に誰か登ると思ったが、案の定友清さんが登った。更に津田さんも登った。岡山さんも続いて登った。年寄りも反対の低い岩に登って眺望を楽しんだ。眼下にはもんじゅ、青葉山の西峰と東峰が見える。振り返ると嶺北の山並みもしっかり見えた。分岐まで戻り、栄螺ヶ岳に向かう。栄螺ヶ岳に着くとコーヒータイムです。栄螺ヶ岳から下に下りて行く道があった。友清さんが下りて行った。下から最高に眺めが良いと叫んでいる。すぐに後を追って下る。岩が崖から飛び出している場所に友清さんが立っている。足がすくみそうな場所だ。でもそこに立つと見えなかった敦賀市内が一望です。一人しか立てないので交代で見る。雲が出てきた。一雨来そうな感じになってきた。栄螺ヶ岳から浦底まで3kmの表示。もうここからが下るだけです。下っていくと一枚岩展望所があった。本当に大きな一枚岩です。全員が岩に立ち、再度嶺北の山の名前で大激論になった。また、急いで下る。岩の階段が出てきた。滑りやすいので慎重に下る。やがて林道に出た。雨に合わず下りることができました。帰りトイレで立ち寄った、松原公園駐車場の横に何と日帰り温泉があった。500円と格安、更に誰も入っていない、また貸切状態です。いい風呂でした。今回も天候に恵まれ、冬ならではの眺望も楽しめました。

御池岳 個人山行報告

2018年12月2日



快晴の御池岳、真っ青な空と草モミジの草原、苔むした森など大変いい山でした。

5時30分に福井を出る。濃霧で前が見えない。スピードを落として走る。木ノ本まで来ると雲一つ無い天気だ。伊吹山が朝日の照らされて赤くなっている。コグルミ谷登山口に向かって登っていく。頂上に着くのかと思うくらい登っていく。コグルミ谷の登山口に1台の車が停まっていた。しかし駐車場無い。通り過ぎて駐車場が無い。鞍掛峠に停まっている車が見えた。行き過ぎたので引き返すことにした。先程停まっている車の前に停めた。

支度を整え出発です。すぐに谷沿いに登っていく。水が全く流れていない。道幅も狭い場所もある。長命水と地図に書いてあるがわからなかった。谷を渡るとジグザクに登っていく。すぐに5合目の表示があった。4合目までどこにもなかった。この山は5合目から表示されるようだ。ジグザクに登り、尾根に出た。6合目です。

6合目に着くと風が出てきた。冷たい風だ。ようやく陽も出てきた。空が青色になってきた。尾根の途中で7合目になった。その後少し登って緩やかに下る。何と下った先に8合目になった。下って合目が上がるのは珍しい。どうもこの山は距離で合目が変わるようだ。8合目を過ぎると苔むした岩の森になった。綺麗です。緑一色の森は本当に素晴らしい。苔の森を過ぎると急坂でぬかるんでいる。滑る滑る。靴の目地が泥で埋まっている。何とか9合目に着いた。ようやくぬかるみがなくなった。見上げると枯れ木に真っ青な空が広がっている。右手を見ると頂上の標識が見えた。頂上に着く。眺望はあるがそれほど感動するものはない。奥ノ平の方向を見ると雲の流れが凄まじく早い。奥ノ平に向かう。道が沢山あるので分かりづらい。丸山に着く。丸山から奥ノ平を望むと草モミジの草原です。綺麗な草原だ。草原の中を歩いて行く。左に目をやると鈴養湖が真下に、右は鈴鹿山脈、贅沢な登山道です。奥の平らに着く。草モミジの草原が広がっている。風が強い。そして冷たい。ポタンブチに向かう。断崖絶壁のポタンブチです。ポタンブチの横から下を見るとかなりの高度感です。どうしてこんな断崖絶壁ができたのでしょうか。不思議です天狗の鼻も不思議。断崖絶壁から岩が飛び出している。本当に天狗の鼻です。一旦御池岳に登り、鈴北山に向かう。途中風の来ない陽の当る場所で昼食です。今日は雑煮でした。美味しく頂きました。真ノ池を通り元池に向かう。また草原になった。所々苔の草原になっている。苔むした大地を見るのは初めてです。日当たりのいい場所なのに苔が生えているとは不思議です。そして日本庭園がどこにあるのか分からない。あっちこっちをウロウロと探し回る。結果どこが日本庭園なのかわからなかった。次回に持越しです。鈴北山に向かう。鈴北山の頂上は広い。360度の展望です。御池岳、いなべ市内、霊仙山、琵琶湖がよく見える。鞍掛峠に向かう。下に伸びる登山道がよく見える。気持ち良い登山道です。これはやはり天気がよく周りもよく見えるおかげでしょう。鞍

掛峠に着くと、その後は狭く細い登山道に変わった。慎重に下りていく。やがて鞍掛峠の駐車場に着いた。20台位は停めれる駐車場です。車道を歩いてコグルミ谷の登山口に向かう。

今日の山行は天気にも助けられたが、見所満載の山でした。こんないい山だとは知りませんでした。

釈迦ヶ岳（滋賀県）

12月15日



冷たい雨の降る中、福井を出発。関が原を越えると晴れてくると思ったが、厚い雲に覆われている。いなべ市に入ると伊勢湾方向の空が真っ赤になっている。朝日が上がりそうだ。真っ赤な太陽が上った。ご来光です。朝明溪谷に入る。雪が降ってきた。こんな日に登山に来る人はいないと思ったが、駐車場に着くと結構車が停まっている。雪が舞っている。防寒対策をして出発です。中尾根コースで行く。狭く細い登山道を進み、川を渡る。川を渡ると坂道になった。しばらく登っていくと左に折れる尾根にでた。皆暑くなったので着替えている。あらためて出発です。尾根道です。時折急坂を繰り返しながら高度を上げていく。積雪も多くなってきた。笹の急登になった。登りきると視界が開けて来た。次は大きな岩の急登になった。登りきると木々が樹氷になっている。綺麗だ！快晴であれば解けて普通の木々になっていただろうと思う。樹氷が綺麗だと思っていたら、突然道が切れ落ちている。大陰のガレ場です。ミニクレットです。雪が積もっているの、慎重に下る。滑ると下まで落ちそうだ。何とか下に着く。振り返って見ると、よく下りて来た后感心させられる。折返し登る。登りきると釈迦ヶ岳の最高点に着いた。風が強いそして冷たい。手がかじかんでビデオのスイッチが押せない。右手は指が出る手袋で無いとビデオ撮影ができないので、あえて手先を出している。右手の指が動かない。左手でスイッチを押して撮影する。濃尾平野が一望です。伊勢湾を囲む知多半島と紀伊半島、もちろん名古屋駅前

のビル群もハッキリ見える。山頂に向かう。山頂に着くと以外にも風が無くなった。天気も晴れてきた。実に運がいい！景色を満喫して頂上を後にした。猫岳に向かう。樹氷の尾根に行く。木が無くなると風が強くなった。風の通り道のような。左手を見ると先程歩いた大陰のガレ場が見えた。そこだけ異様な光景です。猫岳に登る。猫岳からは大陰のガレ場と釈迦ヶ岳が一緒見える。ここからは徐々に高度を下げていく。分岐を2つ越えると頭上の岩場にハト峰の表示板が見えた。ハト峰の頂上に立つと青空になった。ハト峰峠を見下ろすとハート型の顔が作られている。その上にHAPPYの文字が。ハト峰を下りる。花崗岩が風化した砂場の坂を下る。滑ると止まらない。慎重に下りる。中峠に行く予定にしていたが、天気も悪いので谷コースで戻ることにした。岩の階段を下りていく。ロープを掴んで下りる場所は2箇所。危険な場所では無い。第二堰堤の横を下りる場所は、登録有形文化財の堰堤でした。何と明治21年に作られたものでした。林道に出た。ここから駐車場まで長い道のりです。駐車場に着き、昼食の食材を持ってバス停に向かう。バス停の待合の小屋？で昼食です。今日は酸辣湯麺です。美味しく頂きました。温泉は釈迦の隠し湯、三休の湯です。砂利道の急坂に登る。車が数台停まって板が、お風呂はまた貸切状態。誰もいないので大きな窓を開けて露天風呂風にして浸かる。気持ちいい～。冬の登山にしては、まあ～いい天気の方です。釈迦ヶ岳からの絶景、綺麗な樹氷に魅せられ、いい山行になりました。



「編集後記」

あけましておめでとうございます。今年も皆様の山頂写真をお届けします。頑張って登頂して笑顔をくださいね。

日本勤労者山岳連盟発行「登山時報」では、労山会員の皆さんからの投稿写真を募集しています。

登山時報投稿写真係 <mailto:tozanjiho@jwaf.jp> に送信ください。